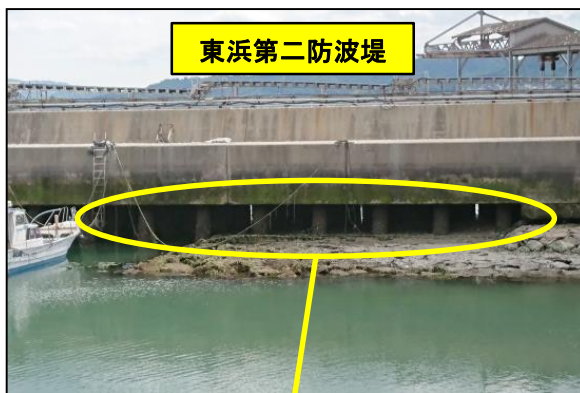


2-③ 安芸津港港湾施設長期保全事業の推進について

東広島市の現状と課題・取組状況

防災・減災及び経済成長に資する
社会資本整備の促進について

- 平成21年度に広島県から管理権限の移譲を受けた地方港湾安芸津港は、本市の唯一の臨海部に位置し古来より海上交通の要衝として発展し、本土と離島を結ぶ航路が就航する人流の拠点として、また背後企業の生産活動を支える拠点として本市の産業を支える重要な役割を担っている。整備後50年以上経過した施設が多くあり老朽化が進んでいるため、早急な補修が必要な施設が増加している。
- 安芸津港港湾施設は、点検結果に基づき、老朽化が進んでいる箇所から補修工事等を実施しているが、全67施設を長期的かつ適切に維持管理していくには多額の費用が必要であり、市の財政負担が大きなものとなっている。また、港湾施設を適切に機能させるため広島県の知識・経験を活用する技術支援を必要とするもの。



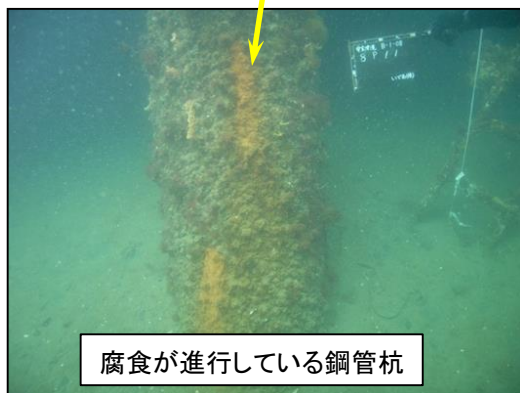
東浜第二防波堤



風早第二防波堤



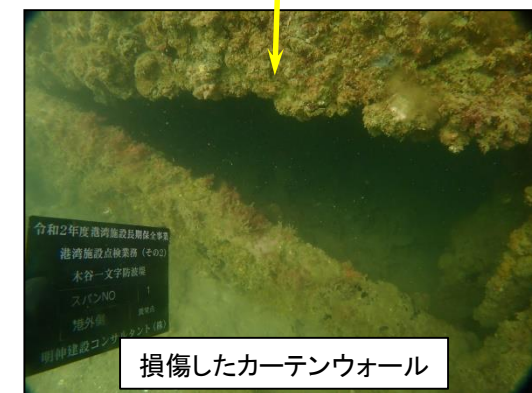
木谷一文字防波堤



腐食が進行している鋼管杭



腐食により穿孔部がある鋼管杭



損傷したカーテンウォール